

数理
石井K

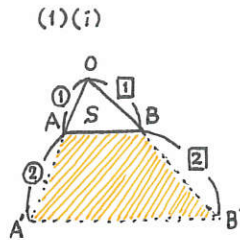
2012年 経済(経済) 第1問

1 次の問いに答えよ。

(1) $\triangle OAB$ に対し、

$$\vec{OP} = s\vec{OA} + t\vec{OB}, \quad s \geq 0, \quad t \geq 0$$

とする。また、 $\triangle OAB$ の面積を S とする。



$$9S - S = 8S \\ \therefore 8 \text{ 倍}$$

(ii) $t' = 2t$ とおく

$$\vec{OP} = s\vec{OA} + \frac{t'}{2}\vec{OB}, \quad 1 \leq s + t' \leq 3$$

\therefore 線分 OB の中点を B_0 とすると



$$\therefore 3 \cdot \frac{3}{2}S - 1 \cdot \frac{1}{2}S = 4S$$

(i) $1 \leq s + t \leq 3$ のとき、点 P の存在しうる領域の面積は S の ア 倍である。

(ii) $1 \leq s + 2t \leq 3$ のとき、点 P の存在しうる領域の面積は S の イ 倍である。

(2) $(\sqrt{2})^n$ は n が奇数のとき無理数である。より一般に、2以上の整数 k に対し、 $(\sqrt[k]{2})^n$ は n が k の倍数でないとき無理数である。したがって、2以上の整数 k に対し、

$$(\sqrt{2}x + \sqrt[k]{2})^{100}$$

$$(2)(i) (\sqrt{2}x)^{100} = 2^{50}x^{100}$$

を展開して得られる x の多項式において、

$\therefore 2$ の 50 乗

(i) x^{100} の係数は2の ウ 乗、

(ii) $n = 0, 1, \dots, 100$ に対し、 x^n の係数が整数となるような n の個数は

$k = 2$ のとき エ 個 101

$k = 3$ のとき オ 個 17

$k = 5$ のとき カ 個 11

$k = 7$ のとき キ 個 8

$k = 51$ のとき ク 個 1

である。

(ii) $\bullet k = 2$ のとき

$$(\sqrt{2}x + \sqrt{2})^{100} = (\sqrt{2})^{100}(x+1)^{100} \\ = 2^{50}(x+1)^{100}$$

\therefore 展開してでてくるすべての項の係数が整数

$\therefore x^0, x^1, \dots, x^{100}$ の 101 個

$\bullet k \geq 3$ のとき 2項定理より

$$(\sqrt{2}x + 2^{\frac{1}{k}})^{100} = \sum_{n=0}^{100} 100C_n \cdot (\sqrt{2})^n \cdot 2^{\frac{100-n}{k}} \cdot x^n \\ = \sum_{n=0}^{100} 100C_n \cdot 2^{\frac{kn+200-2n}{2k}} \cdot x^n \dots (*)$$

$\bullet k = 3$ のとき

(*)より、 x^n の係数が整数になるのは

$$\frac{200+n}{6} \text{ が整数になるとき}$$

$\therefore n = 4, 10, 16, \dots, 100$ の 17 個

$\bullet k = 5$ のとき

$$\text{同様に } \frac{200+3n}{10} \text{ が整数になるとき}$$

$\therefore n = 0, 10, 20, \dots, 100$ の 11 個

$\bullet k = 7$ のとき

$$\frac{200+5n}{14} \text{ が整数になるとき}$$

$\therefore n = 2, 16, 30, 44, \dots, 100$ の 8 個

$\bullet k = 51$ のとき

$$\frac{200+49n}{102} \therefore n = 100 \text{ の } \underline{1} \text{ 個}$$

$$= 1 + \frac{49(n+2)}{102}$$

49と102は互いに素 $\therefore n+2$ は102の倍数